

新入職員紹介

よろしくお願いします



名前 高橋 るみ
採用事業所 小規模多機能居宅介護事業所
職種 介護員
採用年月日 平成21年10月1日



名前 宮西 榮子
採用事業所 小規模多機能居宅介護事業所
職種 介護員
採用年月日 平成21年5月1日



名前 荻原たか子
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 看護師
採用年月日 平成21年9月1日



名前 村上富美子
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 介護員
採用年月日 平成21年8月17日



名前 兒玉 翔一
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 介護員
採用年月日 平成22年4月1日



名前 石井由美子
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 介護員
採用年月日 平成22年4月1日



名前 森田友喜枝
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 介護員
採用年月日 平成22年4月1日



名前 竹内 恵那
採用事業所 特別養護老人ホーム
職種 介護員
採用年月日 平成22年4月1日



名前 兒玉 真希
採用事業所 通所介護事業所
職種 介護員
採用年月日 平成22年4月1日

※第2号発行後 入職した職員

ご寄付ありがとうございました

(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

寄付金

河村俊雄様・久門好一様・遠藤時子様・萩原泰子様・
林中建夫様・匿名の方2名様

寄付物品

加藤奈美子様・北川幸子様・ボランティアすずらん会様・匿名の方4名様

利用者様・地域の福祉のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



今後の行事予定

夏祭り 7月18日(日)

敬老会 9月17日(金)

菊祭り見学 10月下旬



約1年ぶりとなった『コムニの里だより』いかがだったでしょうか?新年度より編集体制を見直し、広報委員会なるものを立ち上げ、新しい体制で初めて作ったのが今号です。今後は皆さまに、より私たちの活動を知って頂けるように、定期的に発行できるように頑張っております。お見苦しい点も多かったと思いますが、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



コムニの里だより

第3号

2010年6月1日発行

さらべつ

新年度を迎えて



コムニの里 さらべつ
施設長 村上 道隆

平成20年8月1日に開設して、早くも1年9カ月が経つとしていきます。地域密着型特養小規模多機能型居宅事業所の併設事業は道内でも初めてで、地方の施設行政関係者の関心が高く、開設後から「小規模の施設ではたして運営ができるのか」の趣旨の視察が多くみられました。昨年は21年度北海道福祉のまちづくりコンクルの公共施設部門表



施設の周辺に住宅が建ちはじめました。

影を受賞し、光を多く取り入れる設計やオール電化の工の問い合わせが増え、ハード面では高い評価をうけました。地域密着型の小さな施設ということでも、更別村だからこそその特徴が発揮されています。幼児・学童保育所の皆さんの来所でも、行政区と名前の書いた名札をつけてもらうと、「誰々さんの孫かい」とすぐ会話がはずみました。各事業所の利用者が一同に集まっても、知らない人はいないので、隣同士昔の話に花が咲きました。面会に来るご家族も入居者皆さんに声をかけていく光景は、大きい町の地域密着型施設では見られないと思います。本年は、地域密着型の特性の家庭的な雰囲気生活で生活できるよう、ソフト面での充実が図れるよう努力したいと考えております。

各事業所の新年度に向けての特徴をお知らせします。特養は開設後満床になり、数か月待機者ゼロもありましたが、現在では「とりあえず申し込みでおくか」という方も含め20名の方が入所待ちをしています。10人が1つの生活単位(ユニットケア)という馴染みのない施設生活に、入居者さんも職員も慣れてきて、「生活の場」の提供ができてきました。また今年4月新入職員が4人入職し、各ユニットのケアもより個別ケアの充実が図れると考えます。当初利用者の少なかつた小規模多機能型居宅事業所(以下「多機能」)も、1年も経たないうちに定員に達し、社協から引き継いだデイサービスとは別な利用の仕方が確立されたように思います。現在特養待機の方々、他の老健等の施設利用をせずこの多機能を利用し、在宅支援を受けて更別にしながら待つておられます。デイサービスも、多機能の影響を懸念していたのですが、今ではほとんど影響はなく、この4月から利用定員を15名から20名に増やし、利用時間帯も午前10時～午後3時30分を午前9時30分～午後4時に1時間延長しました。利用者さんの負担は増えましたが、その分サービスの充実を図ります。今後職員の態勢が整えば、祝日の利用も検討しています。訪問介護事業所も、デイサービス同様で多機能の影響が心配されましたが、在宅で支援を必要としている方は以前と変わらず、介護保険法と障がい者自立支援法の該当者とも継続して利用していただいております。また、利用者さんからの希望のある保険外の利用も職員配置ができる範囲で応じていきます。

法人からのお知らせ

【地域密着型介護老人福祉施設コムニの里おびひろ・小規模多機能事業所コムニの里おびひろの開設について】

社会福祉法人博愛会では、帯広市東圏域に地域密着型介護老人福祉施設・小規模多機能事業所の開設を予定しています。平成23年3月の開設に向け準備を進めているところで、7月には着工する予定です。

これは、全国的に介護士不足がさげばれている中で、十勝の中心都市である帯広市に事業所を開設し法人全体として十分な数の介護士確保を目指すこと、複数の事業所を持つことで運営基盤を安定させることを目的としております。

利用対象者は、地域密着型介護老人福祉施設は帯広市内在住の要介護1～5と認定を受け、当法人が開催する入所認定審査会にて入所が必要とされた方、小規模多機能事業所は帯広市内在住で要支援1・2、要介護1～5の認定を受けた方です。9月以降、ご相談をお受けいたします。



【法人理事・評議員の定数変更と新役員体制について】

上記のとおり、帯広市に新たな事業所を開設させるに伴い、平成22年3月に法人の定款を変更し、理事の定数を7名から10名、評議員の定数を15名から21名に変更いたしました。また、3月は理事・評議員の任期満了の時期と重なり、以下の通り新役員を決定いたしました（○印は新任）。

3月をもちまして理事・評議員を勇退された評議員 高橋功一様、評議員 臼井呉行様、理事 高山直久様、2年間、ご指導いただき本当にありがとうございました。

理事長：細川吉博

理事：下津孝允、佐久間博、○林中建夫、○佐藤三幹、○重清智子、○柴田隆規、林淳也、松崎千恵子、村上道隆

評議員：渡辺春雄、及川民子、西川克子、○丹後正義、○大石祐子、○河西智子、関口亘、高田勝基、梅安秀樹、○野村文吾、○矢戸雅英、

監事：来海有起、竹川博之

【新しい送迎車両を購入しました＆移譲して頂きました】

平成22年2月5日に日本財団の助成を受け、新しい車いす用リフト付きワゴン車（10名乗り）を購入いたしました（写真右）。また5月10日には、更別村様から車いす用リフト付きワゴン車（9名乗り）を移譲して頂きました。どちらも利用者様の医療機関への送迎や外出レクリエーション等に大活躍しております。



事業所紹介

地域密着型介護老人福祉施設

コムニの里には地域密着型介護老人福祉施設があります。29名の入居者様とショートステイ1床があります。10名1グループのユニットが3か所に分かれて、生活をしています。食事の時間や入浴などは全て個別に対応させて頂きますので、それぞれのユニット単位で雰囲気が違うのも特徴と言えます。従来型の施設よりは生活する時間帯に余裕があり、よりその人にあった暮らしの実現が出来るように日々努めています。また、昨年から、夏祭りや慰問なども増え、入居者様の楽しみも増えてきています。今後も入居者様に元気に安心して過ごして頂けるように職員一同努めていきたいと思ひます。入居者様が、住み慣れた地域の中で安心して過ごして頂けるような施設を目指していきたいと考えていますので今後とも宜しくお願い致します。（荻原）



各事業所からの活動報告

地域密着型介護老人福祉施設より

地域密着型介護老人福祉施設では、ユニットでの生活単位を大切に、各ユニットで誕生会や、外出レクなどを行っています。また、毎週金曜日には利用者全員と一緒に体操やレクリエーションを行っています。参加される皆さんは更別村の方々なので、お互いになじみの関係で和やかに体操をされています。

その他には、「ひな祭り」「夏祭り」「敬老会」「帯広菊祭り見学」年末には「餅つき」など、施設での入居生活ではありませんが、四季を感じて過ごして頂けるように行事等を行っています。特にこれからの時期、外も暖かくなる季節なので、外出等の機会を多くして、入居されている方々が楽しんで入居生活を過ごしてもらえるように努めて行きたいと考えております。（畠山）



訪問介護事業所より

訪問介護事業所では、以下のサービスを提供しています。

○介護保険訪問介護事業（予防含む）

○障害者居宅介護事業（重度訪問介護含む）

○障害者地域生活支援事業【移動支援事業】

○保険外サービス【院内介助サービス】

事業所はコムニの里内に併設しておりますので、サービスに関する事など何かあればお気軽にご相談下さい。（山角）（52—5521）



小規模多機能型居宅介護事業所より

私たち小規模多機能事業所では、毎月、誕生会を行っています。5月は、5名の方のお誕生会を行い、皆でバスデーソングを歌ったり、ケーキを食べて楽しく過ごしました。また、職員が手作りしたメッセージと写真を添えた色紙をプレゼントさせて頂き、笑顔で過ごされました。

更別も暖かくなり、外で過ごすことも増えてきました。5月にはさっそく、花見や隣の敷地にある畑にジャガイモ等を植えました。これからの季節は、外に出て楽しく過ごそうと思っています。（松橋）



生活支援ハウスより

生活支援ハウスは開設してから今年で8年目になります。現在、男性5名、女性13名、計18名の方が入居され、生活されています。職員パート含め5名で日々の生活を支援しています。

去る1月22日には、毎年恒例でふれあ～る会の一大イベントの新年会を開催しました。みんなでお寿司など（お酒も少々）を食べて、ゲーム等を家族も一緒に楽しみました。また、当日は、村内のボランティアさんも来所され、歌や踊りを披露頂き、楽しいひと時を過ごしました。皆さんもぜひ一度遊びに来て下さい。（池田）



通所介護事業所より

デイサービスでは、更別農業高校の生徒さん御協力のもと、2月にはバレンタインデー、3月にはホワイトデーを行ないました。

愛のこもった手作りのカードとお菓子のプレゼント。そして一人ずつ握手をして頂き、利用者の方には大変喜んでもらい、大好評でした。宝物の様に部屋に飾る方や大事に大事に保管する方と様々ですが、とても大切な記念となりました。高校生の皆さんありがとうございました。また宜しくお願いします。（紅露）

